2021年3月6日　インド大使館　バガヴァッド・ギーター

・読み：第8章11～20節

・引用：第2章48節、第5章5,18,21節、第13章32節、第14章23節

皆さん元気ですか？　「あなたの優しい顔で我々を守ってください」といつも祈ってますから、神様守っていますので皆さん元気です。

人生には二つの状態があります。

一つは FULL OF LIFE 、日本語に訳すと「生き生きしている」です。例えばこの状態のしるしは何ですか、皆さん答えてください。

（参加者から）楽しい、幸せ、喜んでいる、元気、充実している、積極的、楽観的、肯定的

全部合わせてイメージが明るい、力強い、満足している状態です。

その状態の反対は何ですか？

あまり元気ではない、弱い、苦しみ、不安、否定的、悲観主義、鈍い、暗い 、死んでいるみたいなどです。

明るいの状態、暗いの状態、皆さんどちらが好きですか？ タマス的な人（自虐的な人）は暗いの状態、鈍い状態が好きです。

ジーヴァン・ムクタの状態は１つめの状態です。 皆さんもこの状態の経験があると思います。ジーヴァン・ムクタの経験と何が違いますか？

普通の人の経験はある時はありますが、ある時はなくなり一時的です。ジーヴァン・ムクタの状態は安定しています。

サンスクリット語でジーヴァン・ムクタの反対の言葉があります。

***jivan mukuta   ⇔　jivan mrita***

jivan mrita　生きているけど屍の状態 　mrita は死　amritaは不死です。

トゥーリヤーナンダジは言っていました、魂は自由なのにどうして身体の中に入ってしまうのでしょうか、体の中は束縛ではないですか？

トゥーリヤーナンダジは混乱しましたが、ある聖典に書いてありました。ジーヴァン・ムクタとなって生きている間を楽しみたい、その経験のために魂は体の中に入っています。

人生の目的はジーヴァン・ムクタをイメージしてください。

お金を作るだけでなく、名声欲だけでなく、家族を作るだけでありません。

ギーターは普通の学問とは違います。化学、数学、経済学、大学卒業してから教科書を読んだことありますか？ 普通の学問は人生とあまり関係がありません。聖典はそうではありません、聖典を勉強することは人生と関係があります。

ジーヴァン・ムクタのしるしの基準には６つのポイントがありますので、サンスクリット語で説明します。

①Yoga-yukta Atma

ジーヴァン・ムクタは、求道者の魂とブラフマンの魂いつもつながっています。

***外界の感覚的快樂に心惹かれることなく、常に内なる真我の楽しみに浸っている人は、常に至高者に心を集中し、限りなき幸福を永遠に味わっている。  //5-21***

②Dehasthah api nadehastha

あなたは体の中に住んでいるけど住んでいない、ここにいるけどいない、ということをイメージできますか？

たとえば全然別のことを考えている、心は全然別の場所に行っている、スケジュールのことを考えている。体のレベルでここにいますけど、心のレベルではいません。

ハスの葉の上に水が一滴落ちても、葉っぱは濡れていません、関係がありません。

悟った人は、いつも楽しみ至福が自然で出ますので、状態と自分とは無関係です。

***この至上我は不滅不変であり、物質自然の性質作用を超越している。それ故、クンティー妃の息子よ！私は肉体の中にあるのに、何事も成さず、行為のいかなる影響を受けることはない。 //13-32***

***これが三性質の作用に影響されることなく、働いているのは三性質のみなりと静観し、それから超然として不偏中立を保つ人、　//14-23***

三性質（トリグナ）は働いてますけど自分とは無関係です。

③Samatvam

心はいつも静かというのが、ジーヴァン・ムクタのしるしです。心はいろいろな状況に入っても、幸せの状態、圧倒されていない状態、圧倒された状態の反対です。ある時は楽しみ、ある時は苦しみ、それが圧倒された状態です。

***ダナンジャヤ(アルジュナ)よ！　義務を忠実に遂行せよ。そして成功と失敗とに関するあらゆる執着を捨てよ。このような心の平静さをヨーガというのだ。//2-48***

成功失敗何も気にしない、心が静かな状態です。

④Samdarshitvam

人と人を区別しないの状態、我々はいつも区別してませんか？

いい人、悪い人、好きな人、好きでない人、なかよし、仲良しでない、日本人、インド人、アメリカ人、女性、男性、人間、動物、インドでは雌牛を尊敬してる、犬は尊敬してない 、自分の息子と他の息子を区別する、家のお母さん、うちの母さん、うちの息子、うちの娘等々。

みんな区別ばっかりです。 苦しみがいっぱい、嫉妬、暴力、感情の源はそうです。私はいい人、その人は罪人、私はキリスト教、あの人はヒンズー教、悟った人はそういうことはしない、区別しません。

***真理に関する知識と謙虚な心を有する賢者は、僧侶も、牛も、象も、犬も、犬食いも、一切差別することなく、すべてを平等に観る。//5-18***

学者はうぬぼれが出てきます。スードラ、火葬場の仕事、日本でもありましたが、ホームレスもイメージが良くありません。普通の人と区別してませんか、どうしてジーヴァン・ムクタは区別しないのでしょうか？、何がポイントですか？

犬は象ではない。象は犬ではない。

皆さんの中に同じ神様がいます。同じアートマンがいます。

スワミ・ヴィヴェーカーナンダは、ある王様の宮殿に行きました。ラジャスタンのケトリの王様、後でスワミの弟子になりました。スワミを喜ばせたいので集まりに招待しました。踊りや歌など、職業的な女性の歌手もいましたが、その種類の女性歌手は性格あまり良くなく評判が悪かった。

王様は有名な歌手を準備しました。スワミは職業的な女性歌手が歌うことを知らなかった。女性歌手が出てきた時に、スワミーは僧侶がこういう人たちの歌を聞くのはよくないと考えて、その場所から出ました。

そして女性歌手が歌を歌いました。

「おお神様、サマダラシどうしてあなたは区別してますか、いい人悪い人、どうして区別してますか、あなたの名前はサマダラシではないですか？」

ヴィヴェーカーナンダは戻りました。すいません私は区別してしまい良くなかったとその女性歌手に謝りました。この歌はとても美しい歌です。

全ての生き物の本性は一緒です。 全ての国と国、人と人、宗教と宗教、区別しなくなれば争い事はなくなりませんか？

私の宗教だけ正しいあなたの宗教だめ、地獄に行きます、天国に行きます。

私は昔イギリスに行った時、私は今と同じお坊さんの服を着てました。ある公園の中歩いていたとき、キリスト教イエスについて話していました。信者はイギリス人ではなく、たぶんアフリカの信者が突然私のところに来て、次のように尋ねました。

キリスト教の信者「あなた何の宗教ですか」

マハラジ「ヒンズー教です。」

キリスト教の信者「ヒンズー教！地獄に行きます。」

私は公園を歩いていただけでまったく挑発してませんが、私はびっくりしました。

キリスト教徒だけは天国に行くという考え方、お釈迦様は地獄に行きますか？人と人を区別しないことは、ヴェーダンタの素晴らしいアイディアですが、今の世界にとても大事ではないですか？

トラの中に神様いますけど近くに行かない、近くに行くと食べられてしまいますので、ハグせずに遠くから敬礼します。 全ての存在を同じと考えれば憎しみが出ません。

⑤Nirmana moha jitasangadoshah

***名声を求めず妄想を払い除けた人、執着心を克服し無欲になった人、苦楽の二元性を超越してシンガに安住する人、至上神に己を全託する人、このような人々は、究極の目的地たる永遠の楽土に必ず入る。//15-5***

幻惑はない、名声欲がない、全ての執着がない。

愛はありますが、普通の愛は執着です。ほとんどの愛は執着ですので、純粋な愛は悟った人だけができます。なぜなら区別しないですから、例えばお釈迦様の愛、イエスの愛、 ラーマクリシュナの愛、愛はありますけど、執着はない純粋な愛です。

⑥Akshyam sukham

***外界の感覚的快樂に心惹かれることなく、常に内なる真我の楽しみに浸っている人は、常に至高者に心を集中し、限りなき幸福を永遠に味わっている。  //5-21***

衰えて消える kshyam  衰えて消えない Akshyam

至福が流れてます、抑えることができない、ある池の水は夏の時減っていません、ある池は全然水はなくなっている。

隣の池の水はありますが、何が違いますか、 下から水が湧いているスプリングです。

あるとき楽しみ、ある時楽しみが全然ない苦しみばっかり、ジーヴァン・ムクタは隣の池、夏の時も中の喜びはなくならない、衰えてない消えていません。

ジーヴァン・ムクタのしるし６つのポイント

①Yoga-yukta Atma

②DehaSthah api nadehastha

③Samatvam

④Samdarshitvam

⑤Nirmana moha jitasangadoshah

⑥Akshyam sukham

これが人生の目的と考え覚えてください。生き生きしている、安定した生き生きしている状態ができます。

以上セオリーでしたから、 これから悟った人の例を言います。

一番目の例は、シュカ・デーヴァ、とっても偉大な聖者でした。高いレベルの聖者もシュカ・デーヴァをとてもとても尊敬していました。

ときどきラーマクリシュナはヴィヴェーカーナンダのことをシュカ・デーヴァと同じレベルと言いました。

聖者の集まりがあり聖者がいっぱい集まりました。シュカ・デーヴァは鳥みたいに自由に行動していて服は着ていなかった。シュカ・デーヴァが来たとき高いレベルの聖者は立って敬礼しました。他の人は星、シュカ・デーヴァは太陽みたいでした。

シュカ・デーヴァのお父さんは、ヴィヤーサ、マハーバーラタやプラーナを作りました。

シュカ・デーヴァはお母さんのお腹に１０歳、１２歳になってもお腹からでなかった。お腹からでると無知の環境だから出たくなかった。ヴィヤーサはシュカ・デーヴァに頼みました。お母さんのお腹から出てください。そしてお腹から出ました。

シュカ・デーヴァは生まれるとすぐに森に行きました。生まれる前から悟った人でした。ヴィヤーサはシュカ・デーヴァを戻ってほしいので追いかけました。

シュカ・デーヴァはなにも気にせず歩いていました。道の隣に湖がありました。女性たちは服を脱いで沐浴していました。シュカ・デーヴァはとても若い、とても美しい、とても明るい、服はない。しかし女性たちはシュカ・デーヴァが通っても誰も気にしなかった。ヴィヤーサは後から追いかけてきて、女性たちはヴィヤーサを見て急に恥ずかしくなって服を来ました。ヴィヤーサはびっくりして女性たちに尋ねました。

「娘たち、私の息子はとても若い、服を着ていない、私は年を取っている、服も着ている。どうしてあなたたちは私をみてとても恥ずかしいのですか」

「シュカ・デーヴァは若くても身体意識がないので、私たちも身体意識がでませんでしたので恥ずかしくありませんでした。あなたは年取った聖者ですが、あなたは少し身体意識が残っています。それで、私たちも身体意識が出て恥ずかしくなりました。」註１)

次の例は次回のクラスで話します。

Ｑ＆Ａ

 参加者：

マハラジはいい人、悪い人を区別しない、トラ神様の話をしましたが、私はどうしてもいい人と悪い人の区別をしてしまいます。悪い人には影響されるから近寄らないほうがよいのですか？

マハラジ：

ケースバイケースです。自分の見方で悪い、本当は悪くない可能性はないですか？　別の人からみたら悪くない、自分の問題かもしれない。そのため内省しないとできない。

本当はできるだけ避けたほうが良いですが、その人のために祈ったほうがいい、その人の中の神様に敬礼してください。

註１)参考文献

スワーミー・プラバーヴァーナンダ (著),『シュリーマッド・バーガヴァタム』,日本ヴェーダンタ協会,2008